

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド (予想分配金提示型)

愛称：ロイヤル・マイル

追加型投信／内外／株式

信託期間を従来の2029年1月25日から2039年1月25日へ延長しました。

作成対象期間：2021年1月26日～2021年7月26日

第2期決算日：2021年2月25日 第5期決算日：2021年5月25日

第3期決算日：2021年3月25日 第6期決算日：2021年6月25日

第4期決算日：2021年4月26日 第7期決算日：2021年7月26日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、円建ての投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等（DR（預託証券）を含みます。）を高位に組み入れ、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第7期末（2021年7月26日）

基準価額 10,752円

純資産総額 21,251百万円

第2期～第7期

騰落率 +7.1%

分配金合計^(*) 200円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufig.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  0120-151034

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第2期～第7期：2021年1月26日～2021年7月26日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第2期首	10,223円
第7期末	10,752円
既払分配金	200円
騰落率	7.1%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 ※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ7.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

> 基準価額の主な変動要因

上昇要因

新型コロナウイルスワクチン接種の進展を背景に景気回復に楽観的な見方が広がったことや、保有銘柄（MODERNA INC、BIONTECH SE-ADRなど）が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

※参考指数は、MSCI オールカントリー・ワールドインデックス（配当込み、円ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※参考指数は、当作成期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2021年1月26日～2021年7月26日

1 万口当たりの費用明細

項目	第2期～第7期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	80	0.790	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（ 投 信 会 社 ）	(44)	(0.435)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(34)	(0.339)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	80	0.792	

作成期中の平均基準価額は、10,176円です。

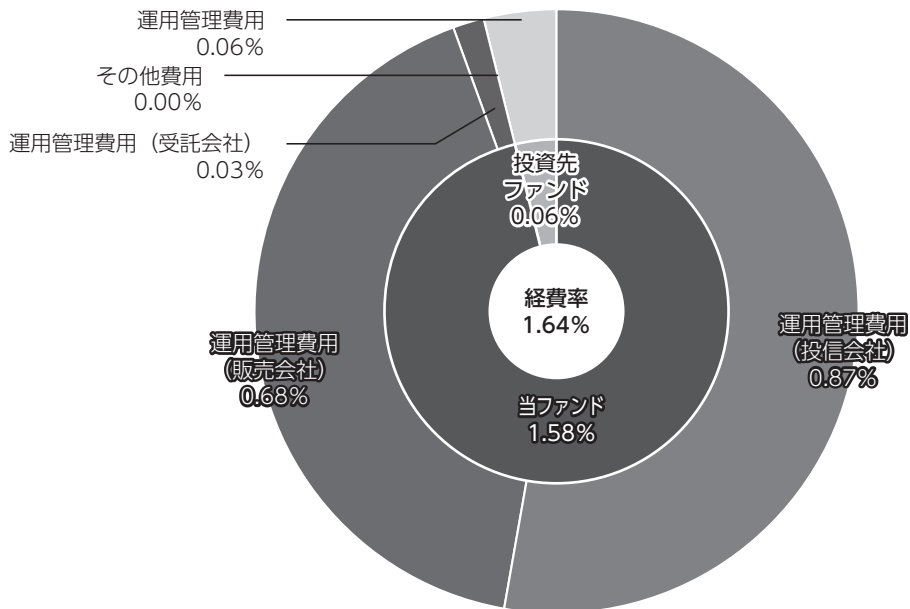
- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**経費率（年率）は1.64%**です。



経費率 (①+②)	(%)	1.64
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.58
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.06

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、前記には含まれておりません。

2016年7月26日～2021年7月26日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、参考指数は、設定時の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

						2021/7/26 決算日
基準価額	(円)	-	-	-	-	10,752
期間分配金合計 (税込み)	(円)	-	-	-	-	-
基準価額騰落率	(%)	-	-	-	-	-
参考指数騰落率	(%)	-	-	-	-	-
純資産総額	(百万円)	-	-	-	-	21,251

※騰落率および期間分配金合計については、年間の値を表示しており、期間が1年に達していない場合には表示していません。

参考指数は、MSCI オールカントリー・ワールド インデックス（配当込み、円ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第2期～第7期：2021年1月26日～2021年7月26日

投資環境について

▶ 株式市況

株式市況は上昇しました。

当作成期首から2021年4月にかけては、米長期金利上昇への警戒感などから下落する局面があったものの、米追加経済対策への期待や新型コロナウイルスワクチン接種の進展を背景に景気回復に楽観的な見方が広がったことなどから上昇しました。

その後は、米連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げ時期前倒しの可能性が示唆されたことなどから下落する局面があったものの、一部企業が良好な決算を発表したことや、引き続き新型コロナウイルスのワクチン接種が進展したことなどが好感され、上昇しました。

▶ 為替市況

当作成期首に比べ、米ドル・ユーロは対円で上昇しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当作成期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.038%となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド（予想分配金提示型）

外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスC・JPY・アキュムレーション）への投資を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

▶ ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション

日本を含む世界各国（新興国を含みません。）の株式等（DR（預託証券）を含みません。）を主要投資対象とし、個別企業に

対する独自の調査に基づき、長期の視点で高い成長が期待される企業の株式等に厳選して投資を行いました。

主な新規組み入れ、全売却した銘柄は以下の通りです。

主な新規組入銘柄

韓国ネットショッピング大手の「COUPANG INC」などを新規に組み入れました。

主な全売却銘柄

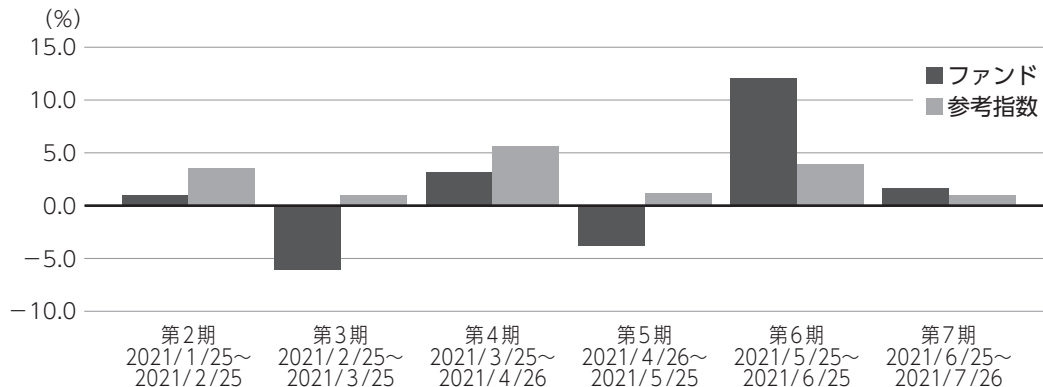
インターネット検索サイトを運営する「ALPHABET INC-CL A」を全売却しました。

- ▶ マネー・マーケット・マザーファンド
コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保をめざした運用を行いました。

第2期～第7期：2021/1/26～2021/7/26

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は、第3期以降分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はMSCI オールカントリー・ワールド インデックス（配当込み、円ベース）です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し決定します。原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じ、予想提示された金額の分配をめざします。この結果、次表の通りとさせていただきます。なお、信託約款の規定に従い第2期までの収益分配は行っていません。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期
	2021年2月26日～ 2021年3月25日	2021年3月26日～ 2021年4月26日	2021年4月27日～ 2021年5月25日	2021年5月26日～ 2021年6月25日	2021年6月26日～ 2021年7月26日
当期分配金 （対基準価額比率）	－ （－％）	－ （－％）	－ （－％）	100 (0.927%)	100 (0.921%)
当期の収益	－	－	－	100	100
当期の収益以外	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	205	205	205	683	751

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド（予想分配金提示型）

外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスC・JPY・アキュムレーション）およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資を行います。

▶ ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション

引き続き、主として日本を含む世界各国の株式等に投資を行います。

ポートフォリオの構築に際しては、個別企業に対する独自の調査に基づき、長期の視点で高い成長が期待される企業の株式等に厳選して投資を行う方針です。

新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済への影響に対する懸念などから、短期的には不安定な相場展開となる可能性があるものの、当ファンドのポートフォリオは将来の成長に適した位置付けにあると考えています。

保有している投資先企業は、長期にわたり売上高と利益で平均を上回る成長率を達成する能力を有すると考えています。

また、これらの企業の多くは、多くの新興市場における裁量的支出の伸び、テクノロジーとインターネットの台頭、そして医療の進歩など、長期にわたって持続が見込まれる構造的な成長ドライバーによって支えられていると考えます。

今後もファンダメンタルズの分析を継続するとともに、競合他社に対する持続可能な優位性を確保し長期的な視点を持った経営陣によってマネジメントされている企業の発掘に重点を置いた銘柄選定を行います。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・ 信託期間を従来の2029年1月25日から2039年1月25日へ延長し、信託約款に所要の変更を行いました。(2021年4月24日)

▶ その他

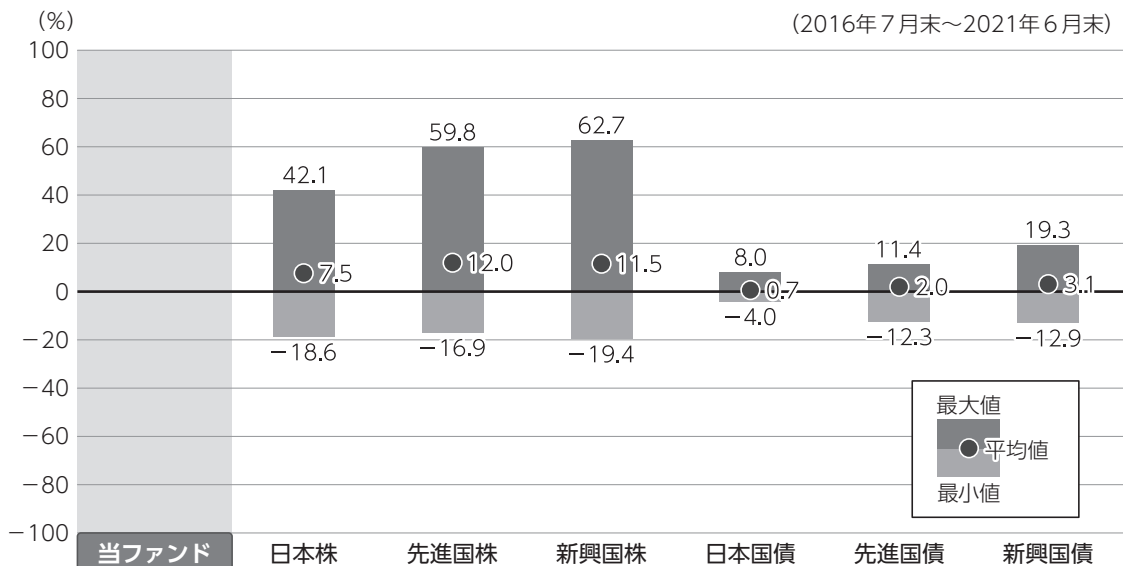
- ・ 該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2039年1月25日〔当初、2029年1月25日〕まで（2021年1月19日設定）
運用方針	<p>外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスC・JPY・アキュムレーション）への投資を通じて、主として日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等（DR（預託証券）を含みます。）に投資を行います。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。</p> <p>外国投資法人の投資信託証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド</p> <p>ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーションおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p>■ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション</p> <p>日本を含む世界各国の株式等を主要投資対象とします。</p> <p>■マネー・マーケット・マザーファンド</p> <p>わが国の公社債等を主要投資対象とします。</p> <p>外貨建資産への投資は行いません。</p>
運用方法	<p>日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。</p>
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じ、予想提示された金額の分配をめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、決算日にかけて基準価額が急激に変動し、提示されている予想分配金額が分配対象額を超える場合等には、当該分配金額としないことや分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。</p>

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2016年7月から2021年6月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したのですが、ファンドを設定してから1年を経過していないため、ファンドの年間騰落率は記載していません。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2021年7月26日現在

▶ 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

（組入銘柄数：2銘柄）

ファンド名	第7期末 2021年7月26日
ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション	97.2%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.0%

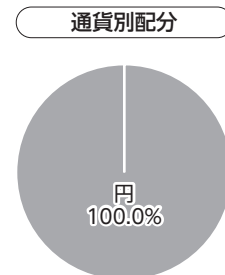
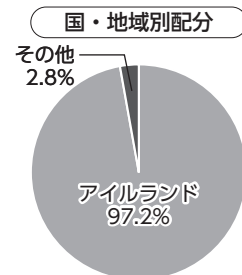
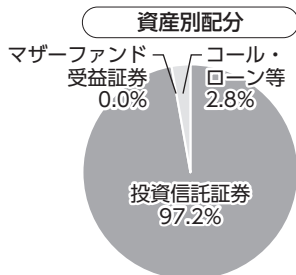
※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

純資産等

項目	第2期末 2021年2月25日	第3期末 2021年3月25日	第4期末 2021年4月26日	第5期末 2021年5月25日	第6期末 2021年6月25日	第7期末 2021年7月26日
純資産総額 (円)	11,091,332,969	14,831,516,078	17,897,482,646	18,293,550,143	20,752,942,173	21,251,095,855
受益権口数 (口)	10,739,119,355	15,294,941,534	17,893,371,899	19,016,853,587	19,425,891,266	19,765,369,224
1万口当たり基準価額 (円)	10,328	9,697	10,002	9,620	10,683	10,752

※当作成期間中（第2期～第7期）において追加設定元本は18,014,098,363円
同解約元本は 1,356,452,005円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先としてのファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

2020年9月30日現在

組入上位ファンドの概要

▶ ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション

基準価額の推移

2019年9月30日～2020年9月30日



1万口当たりの費用明細

2019年10月1日～2020年9月30日

1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示はできません。

基準価額の推移以外の開示情報につきましては、クラス分けされたものがないため、「ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンド」ベースで表示しています。

▶ ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンド

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：37銘柄)

	銘柄	国・地域	業種	比率(%)
1	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス	8.4
2	TESLA INC	アメリカ	一般消費財・サービス	8.1
3	ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	中国	一般消費財・サービス	6.5
4	TENCENT HOLDINGS LTD	中国	コミュニケーション・サービス	5.8
5	MEITUAN DIANPING-CLASS B	中国	一般消費財・サービス	5.4
6	KERING	フランス	一般消費財・サービス	4.3
7	ILLUMINA INC	アメリカ	ヘルスケア	4.1
8	FACEBOOK INC-CLASS A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.9
9	NETFLIX INC	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.4
10	SHOPIFY INC - CLASS A	カナダ	情報技術	3.1

※比率はファンドの純資産総額に対する割合です。

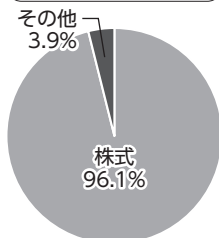
※国・地域は、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドの定義に基づいています。

※業種はGICS（世界産業分類基準）のセクターで分類しています。Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とS&P (Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

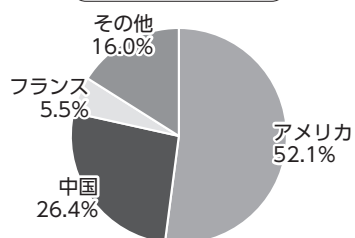
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等

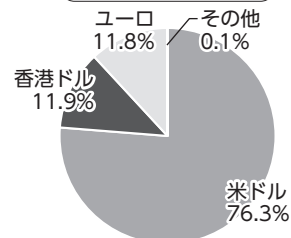
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域は、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドの定義に基づいています。

968469

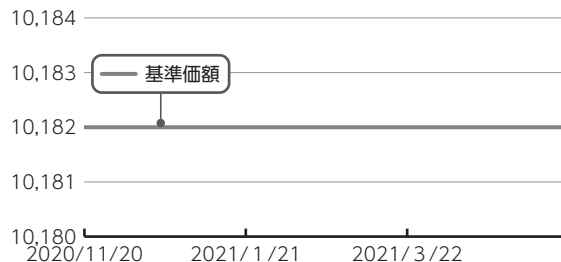
2021年5月20日現在

組入上位ファンドの概要

マネー・マーケット・マザーファンド

基準価額の推移

2020年11月20日～2021年5月20日
(円)



1万口当たりの費用明細

2020年11月21日～2021年5月20日
当期において費用が発生していないため、費用明細は作成していません。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：2銘柄)

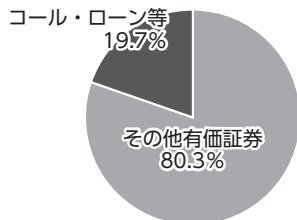
	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	SMTパナ 210521	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	64.3
2	ショウワリース 210521	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	16.1
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

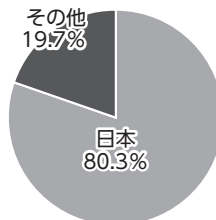
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等

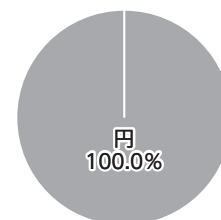
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ ファンドの参考指数である『MSCI オールカントリー・ワールド インデックス（配当込み、円ベース）』について

MSCI オールカントリー・ワールドインデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国・新興国の株式で構成されています。同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

● 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

● FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信